

プロパン新聞 2009年6月29日(月)

名古屋市 公用車に初採用 リースでエコ替え、ライトバン1台

名古屋市(河村たかし市長)の環境局地域環境対策課(加納信隆課長)は、公用車にLPG車の日産ADバンをリース更新に合わせて試験導入した。東邦ガスグループの東邦総合サービス(名古屋市、松浦正明社長)が市と随意契約で1台のリース契約を締結、6月16日午前中に東館駐車場に納車した。名古屋市が公用車にLPG車を採用したのは初めて。

名古屋市に対しては、数年前から愛知県協エルピーガススタンド保安委員会のメンバーが採用を働きかけてきた。今年度に入ってから委員に採用の申し出があり、具体的に勧めたところ、大気環境課での採用が急ぎよ決まった。

採用第一号は日産ADバン1500VPI改造車で8都県市指定低公害車のうち国が定めた平成17年排出ガス基準に対応した超低公害車(排出ガス基準75%低減・クラス)。環境局の出先機関や苦情のあった現場へ出勤するための連絡車(事務用)として活用する。本庁で試験的に導入してデータを収集し、スタンドのインフラ・サービスも含めた使い勝手の面で、公用車として問題がないと確認されれば、今後もLPG車を代替車として調達していく方針。スタンドは東邦エコオートガスの城見スタンド(北区)と桜田スタンド(熱田区)の2ヶ所を利用する。

名古屋市では原則として、すべての公用車に低燃費車を導入する方針。平成17年に事務用10%の導入目標を超えたことから、18年4月に新たに「公用車への低公害・低燃費車の導入方針」を定めた。この方針に基づき、LPG車も含めたエコカーへの代替を推進していく。事務用、市バス、ゴミ収集の塵芥車などを含めた市保有の総台数(3,193台)に占める低公害・低燃費車は39%(1,246台)。

これまでLPG車を調達できなかった理由を山田信吾交通環境対策係長は「LPG車は国の低公害車の位置づけにはいっておらず、市としても位置づけられていない車の導入は困難だった」と説明。新たにLPG車を含めた低公害車の導入方針を定め、基準を見直すことで100%達成を目指すこととした。導入方針で基準を満たすLPG車を調達可能にした。

名古屋市が保有する車の総台数は3,193台。そのうち事務用は約2,000台弱(達成率20%強)、バスは約1,000台(同10%)、CNG車は252台で、バスと塵芥車で頭打ちの状況。ハイブリッド車は19台、電気自動車は2台。

「公用車への低公害・低燃費車の導入方針」は名古屋市ホームページの事業向け情報、グリーン購入の取り組みから閲覧できる。

URLは <http://www.city.nagoya.jp/jigyounyusatsu/green/>

以上